

みち



潟上市立天王南中学校
3年部学年通信
H22.10.15 No.31
文責 長崎 涼子

後期スタート！ 進路目標実現のために



昨日から後期がスタートしました。

1校時目は始業式でした。3組の藤田芽衣さんが後期「進路目標の達成に向けて頑張る決意」を発表しました。(発表内容は裏面で紹介します。)その後、校長先生からの天南GPについてのお話や、安田先生、藤澤先生からの生活・学習面でがんばってほしいことのお話がありました。

学習面で後期頑張ることとして『毎日の授業を大切にすること』『家庭学習を毎日2時間行うこと』を全校で確認しました。生活面では、生活安全委員「藤澤劇団」が、『気持ちがいいあいさつの仕方』について演じてくれました。『集中すること』を意識した授業態度や、廊下ですれ違ったときの気持ちがいいあいさつなど、集会で話されたことを早速実践する様子が見られ、うれしく思いました。(学習については昨日配布の学習日よりをご覧ください)



頑張ってます!?

短いけれども大切な休日だったこの秋休み。どのように過ごしましたか？一生懸命学習に向かうことができたでしょうか？提出されたものや休み時間の話などから、頑張ることができた人とまだ自分に甘えている人がいるように感じます。

秋休み中土曜塾で学習する人が20名を超えていました。後期が始まった今日も、放課後視聴覚室で学習し、わからなかったところを職員室で質問する姿が見られました。(素晴らしい!)このような学習に向かう姿勢が是非学年全体のものになってほしいと思います。

通知表の保護者の皆さんからの一言を拝見すると、進路目標の実現を願い、支援したいという強い気持ちが感じられ、大変力強く感じました。保護者の皆さんと協力しながら、子供たち一人一人が自分の進路の目標を明確にし、その実現を図ることができるよう支援していきたいと3年部職員一同思っています。

3年生のみんなには、「頑張ってる」と聞かれたとき、胸を張って「はい!頑張ってます」と自分に自信を持って言える取り組みを期待しています。

※さしあたり、課題の全員提出・小テスト全員合格が目標ですね。

ご協力ありがとうございます

・携帯電話・インターネット使用状況についてのアンケート

短い期間ではありましたが、お忙しい中記入・提出していただき大変助かりました。提出率がよく、ご協力に感謝いたします。

結果につきましては、生徒指導部でまとめることとなりますが、後日紹介できればと思っています。

10月18日(月)~24日(日)の予定

日	曜	時 間 割						日課	行 事 予 定 等
		1	2	3	4	5	6		
18	月	水1	水2	水3	水4	水5	/	普	水曜授業 職員会議
19	火	火1	火2	火3	火4	火5	火6	普	朝数学テスト 2年生CSW(~21日)
20	水	月1	月2	月3	月4	月5	/	普	朝理科社会テスト 1年生宿泊研修(~21日) 給食試食会 進路PTA18:30~
21	木	金1	金2	金3	金4	金5	金6	普	5・6校時 進路集会(入試について)
22	金	木1	木2	木3	木4	木5	木6	S	数学検定
23	土	土 曜 塾							かたがみコンサート
24	日								

進路目標の達成に向けての藤田芽衣さんの発表です。

秋まで行っていた部活動もようやく一段落し、後期を迎えました。3年生にとっては自分の進路を決定する大切な時期です。

私は春の時点では第一志望校が決定していて、その合格のために努力をしていました。そのため、進路調査などがあっても特に焦ることはないだろうと思っていました。しかし、夏休み頃に見たある新聞記事を読んで不安になりました。

その記事は吹奏楽部に所属している女子高校生の記事で、「部活で始まり部活で終わる日々がもうすぐ終わりに近付いたが、毎日部活の日々だったので卒業後は何をしたいかわからない」というものでした。

年は違うといえど、私も高校への進路は決まっていますが、そのあとが全くの未定です。私もそうになってしまうのではないかと急に焦りを感じました。

そんな中、私は夏休みに「ふれあい看護体験」に参加しました。小学生の頃「車いす体験」に参加して以前から福祉、医療に興味を持っていたので、この看護体験で貴重な話を聞き、血圧測定などの活動を行ったことは、自分にとってとてもプラスとなりました。将来医療の仕事に就くことについて具体的に考えられるようになり、そのことで、夏休み前の焦りがなくなりました。

今、私は勉強に一生懸命取り組んでいます。一週間ごとに勉強の予定を立てるなど自分で工夫して、毎日確実に定着していけるようにしています。それは第一志望校合格のためであり、将来の夢、医療の仕事を実現するためでもあります。勉強の成果がテストに出ることもあれば、予想以上に悪かったこともあり、まだまだ不安ですが、残り6ヶ月となった最後の中学校生活を進路の実現へ向けて有効に使っていきたいです。

